

2026年3月17日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 バ ト ン ズ  
代 表 者 名 代 表 取 締 役 C E O 神 瀬 悠 一  
(コード番号：554A 東証グロース)  
問 合 せ 先 執 行 役 員 C F O 木 村 博 史  
TEL. 03-6773-5004

### 2026年3月期の業績予想について

2026年3月期（2025年4月1日から2026年3月31日）における当社の業績予想は、次のとおりであります。

【個別】

(単位：百万円、%)

項目	2026年3月期 (予想)			2026年3月期 第3四半期累計期間 (実績)		2025年3月期 (実績)	
	対売上 高比率	対前期 増減率		対売上 高比率		対売上 高比率	
売上高	2,010	100.0	45.8	1,371	100.0	1,379	100.0
営業利益	344	17.1	574.5	187	13.6	51	3.7
経常利益	346	17.2	507.0	189	13.8	57	4.1
当期(四半期) 純利益	242	12.0	490.2	122	8.9	41	3.0
1株当たり当期 (四半期)純利益	56円33銭			28円40銭		9円52銭	
1株当たり配当金	0円00銭			0円00銭		0円00銭	

- (注) 1. 当社は、連結財務諸表及び四半期連結財務諸表を作成しておりません。  
2. 2025年3月期(実績)及び2026年3月期第3四半期累計期間(実績)の1株当たり当期(四半期)純利益は期中平均発行済株式数により算出しております。  
3. 当社は、2026年1月8日付で普通株式1株につき100株の株式分割を行っておりますが、上記では2025年3月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり当期(四半期)純利益を算出しております。

ご注意： この文書は一般に公表するための記者発表文であり、日本国内外を問わず一切の投資勧誘又はそれに類する行為を目的に作成されたものではありません。投資を行う際は、必ず当社が作成する「新株式発行並びに株式売出届出目論見書」(並びに訂正事項分)をご覧いただいた上で、投資家ご自身の判断で行うようお願いいたします。なお「新株式発行並びに株式売出届出目論見書」(並びに訂正事項分)は引受証券会社より入手することができます。  
また、本記者発表文に記載されている当社の計画、見積もり、予測、予想その他の将来情報については、本記者発表文の作成時点における当社の判断又は考えに過ぎず、実際の当社の財政状態、経営成績その他の結果は、経済状況の変化、市場環境の変化及び他社との競合、外国為替相場の変動等により、本記者発表文の内容又は本記者発表文から推測される内容と大きく異なることがあります。

#### 【2026年3月期業績予想の前提条件】

本資料に記載されている2026年3月期の業績予想については、2025年12月までの実績が当初予算を超過して推移したため、2025年12月までを実績値に置き換え、足許の状況を踏まえた2026年1月以降の予想数値を合算して策定し、2026年2月13日に開催された取締役会で決議を経たものであります。

#### (当社全体の見通し)

当社は、「誰でも、何処でも、簡単に、自由に、M&Aができる社会を実現する」をビジョンとして掲げ、インターネットを活用したM&Aプラットフォーム「BATONZ」の企画・制作・運営を主軸とする「M&Aテクノロジー事業」を展開しております。

M&Aは企業の成長・再編、事業承継のための重要なソリューションとして社会での認知が高まっており、近年では中小企業における利活用も大きく進んでまいりました。このような中で中小企業庁による『中小M&Aガイドライン』の策定、これを遵守するM&A支援機関を対象とする『M&A支援機関登録制度』の導入等、業界全体の透明性向上と品質強化を求める動きが加速しております。

このような事業環境下で、当社はプラットフォームやサービスの安全性/健全性を高め、より安心安全なM&Aが実現できる各種取組に注力してまいりました。具体的にはプラットフォーム利用者の審査/モニタリングの更なる強化、M&Aプロセスを通じたサポートサービスの提供等です。

結果として、当社の2026年3月期の業績は、売上高2,010百万円(前期比45.8%増)、営業利益344百万円(前期比574.5%増)、経常利益346百万円(前期比507.0%増)、当期純利益242百万円(前期比490.2%増)を見込んでおります。

#### (売上高)

当社はM&Aテクノロジー事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載は省略しておりますが、売上高は「M&Aプラットフォーム」、「M&A SaaS」、「その他」により構成されております。

#### <M&Aプラットフォーム>

M&Aプラットフォームでは、3つの主要サービスを提供しております。

1つ目の「マッチングサービス」は、当社が運営するM&Aプラットフォーム「BATONZ」を利用したM&A成約時に、買い手より成約時システム報酬(成約価額の2%)を受領するものです。

本サービスの売上見通しは、M&Aプラットフォーム「BATONZ」に売り案件として公開された案件の成約組数を見立て、成約組数に成約時システム報酬単価を乗じた売上を月次ベースで見立てております。

成約組数はプラン毎に過去から2025年12月までの成約組数の推移ベースとして推計精度の高い統計モデルを構築し、季節性を加味して見立てております。成約時システム報酬単価も同様に過去から2025年12月までの単価の推移ベースとした統計モデルで見立てております。

2つ目の「ソーシング支援サービス」は、買い手向け有料オプションとして、成約確率・効率の向上を目指した売り案件のソーシング支援を提供し、プラン別の月額利用料を受領するものです。

本サービスの売上見通しは、プラン別会員数にプラン別月額利用料を乗じた売上を月次ベースで見立てております。なお、プラン別会員数の推移については、申請期である2025年4月から12月までの獲得数およびチャーン数の平均値を採用しております。

3つ目の「FA支援サービス」は、売り手向け有料オプションとして、当社コンサルタントがディールの要所又はプロセス全体を支援し、FA支援料を受領するものです。

本サービスの売上見通しは、プラン別成約組数にFA支援単価を乗じた売上を月次ベースで見立てております。プラン毎の成約組数は「マッチングサービス」と同値となっております。

以上の結果、2026年3月期におけるM&Aプラットフォームの売上高は1,516百万円(前期比53.1%増)を見込んでおります。なお、2026年3月期第3四半期までの売上実績値は1,008百万円(進捗率66.5%)

ご注意：この文書は一般に公表するための記者発表文であり、日本国内外を問わず一切の投資勧誘又はそれに類する行為を目的に作成されたものではありません。投資を行う際は、必ず当社が作成する「新株式発行並びに株式売出届出目論見書」(並びに訂正事項分)をご覧いただいた上で、投資家ご自身の判断で行うようお願いいたします。なお「新株式発行並びに株式売出届出目論見書」(並びに訂正事項分)は引受証券会社より入手することができます。

また、本記者発表文に記載されている当社の計画、見積もり、予測、予想その他の将来情報については、本記者発表文の作成時点における当社の判断又は考えに過ぎず、実際の当社の財政状態、経営成績その他の結果は、経済状況の変化、市場環境の変化及び他社との競合、外国為替相場の変動等により、本記者発表文の内容又は本記者発表文から推測される内容と大きく異なることがあります。

となっております。

第3四半期までの売上進捗率が3/4を大きく下回る要因として、大きく以下の2点が挙げられます。

- ① M&Aの成約に季節性があることから、M&Aプラットフォームサービスについては売上が決算期末に偏重する傾向があること
- ② 見通し作成時において判明している今後の売上の中で、比較的大型な成約案件の成約時システム報酬およびFA支援単価が見込まれていること

#### <M&A SaaS>

M&A SaaSでは、2つの主要サービスを提供しております。

1つ目の「パートナープログラム」は、M&A支援専門家向けにSaaSシステムを提供し、プラン別の月額利用料を受領するものです。

2つ目の「B MASS」は、金融機関向けにSaaSシステムを提供し、月額利用料を受領するものです。上記2サービスの売上見通しは、プラン別会員数もしくは利用金融機関数にプラン別月額利用料を乗じた売上を月次ベースで見立てております。なお、プラン別会員数の推移については、過去のトレンドをもとに作成しております。

以上の結果、2026年3月期におけるM&A SaaSの売上高は437百万円（前期比20.5%増）を見込んでおります。なお、2026年3月期第3四半期までの売上実績値は331百万円（進捗率75.7%）となっております。

#### <その他>

M&Aに関連する、行政/地方自治体からの受託、講演/コンサルティング/情報メディア発刊、各種周辺サービスを提供しております。

上記各サービスについて、過去実績に加えて、受注状況を加味した形で算出しております。

以上の結果、2026年3月期におけるその他の売上高は58百万円（前期比118.0%増）を見込んでおります。なお、2026年3月期第3四半期までの売上実績値は31百万円（進捗率53.4%）となっております。

第3四半期までの売上進捗率が3/4を大きく下回る要因として、行政/地方自治体からの受託における売上が期末に偏重することが挙げられます。

以上「M&Aプラットフォーム」「M&A SaaS」「その他」をふまえ、2026年3月期の売上高は2,010百万円（前期比45.8%増）を見込んでおり、2026年3月期第3四半期までの売上実績値は1,371百万円（進捗率68.2%）となっております。

#### （売上原価）

売上原価は、主に労務費（FA支援サービスのコンサルタント人件費）、直接経費（案件紹介料、ソフトウェア償却費）で構成されております。労務費は対応要員数の増加に伴い、直接経費は成約案件の拡大に伴う増加を見込んでおります。

以上をふまえ、2026年3月期の売上原価は315百万円（前期比26.8%増）を見込んでおり、2026年3月期第3四半期までの売上原価実績値は232百万円（進捗率73.7%）となっております。

#### （販売費及び一般管理費、営業利益）

販売費及び一般管理費は主に人件費（含、人材採用費）、支払手数料、広告宣伝費で構成されております。人件費は要員計画に応じて、支払手数料は主に成約組数やサービス利用者に伴う変化を見込んでおります。広告宣伝費には2026年2月～3月において実施する、成長再現性強化に向けたマーケティング検証投資を見込んでおります。

以上をふまえ、2026年3月期の販売費及び一般管理費は1,352百万円（前期比25.2%増）、営業利益は344百万円（前期比574.5%増）を見込んでおります。なお、2026年3月期第3四半期までの販売費

ご注意： この文書は一般に公表するための記者発表文であり、日本国内外を問わず一切の投資勧誘又はそれに類する行為を目的に作成されたものではありません。投資を行う際は、必ず当社が作成する「新株式発行並びに株式売出届出目論見書」（並びに訂正事項分）をご覧いただいた上で、投資家ご自身の判断で行うようお願いいたします。なお「新株式発行並びに株式売出届出目論見書」（並びに訂正事項分）は引受証券会社より入手することができます。

また、本記者発表文に記載されている当社の計画、見積もり、予測、予想その他の将来情報については、本記者発表文の作成時点における当社の判断又は考えに過ぎず、実際の当社の財政状態、経営成績その他の結果は、経済状況の変化、市場環境の変化及び他社との競合、外国為替相場の変動等により、本記者発表文の内容又は本記者発表文から推測される内容と大きく異なることがあります。

及び一般管理費実績値は 952 百万円（進捗率 70.4%）、営業利益実績値は 187 百万円（進捗率 54.4%）となっております。

（営業外損益、経常利益）

営業外収益については、経常的に発生する受取利息等を見込んでおります。

結果として、経常利益は 346 百万円（前期比 507.0%増）を見込んでおり、2026 年 3 月期第 3 四半期までの実績値は 189 百万円（進捗率 54.6%）となっております。

（特別損益）

当期においては特別損益を見込んでおりません。

（当期純利益）

この結果、税引前当期純利益は経常利益と変わらず 346 百万円（前期比 507.0%増）となる見込みで、法人税等 104 百万円を差し引き、当期純利益は 242 百万円（前期比 490.2%増）を見込んでおり、2026 年 3 月期第 3 四半期までの実績値は 122 百万円（進捗率 50.4%）となっております。

【業績予想に関するご留意事項】

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因によって異なる場合があります。

以上

ご注意： この文書は一般に公表するための記者発表文であり、日本国内外を問わず一切の投資勧誘又はそれに類する行為を目的に作成されたものではありません。投資を行う際は、必ず当社が作成する「新株式発行並びに株式売出届出目論見書」（並びに訂正事項分）をご覧いただいた上で、投資家ご自身の判断で行うようお願いいたします。なお「新株式発行並びに株式売出届出目論見書」（並びに訂正事項分）は引受証券会社より入手することができます。

また、本記者発表文に記載されている当社の計画、見積もり、予測、予想その他の将来情報については、本記者発表文の作成時点における当社の判断又は考えに過ぎず、実際の当社の財政状態、経営成績その他の結果は、経済状況の変化、市場環境の変化及び他社との競合、外国為替相場の変動等により、本記者発表文の内容又は本記者発表文から推測される内容と大きく異なる場合があります。